

国民年金保険料 609万人免除・猶予

厚生労働省は二十八日、二〇二〇年度の国民年金加入・保険料納付状況を発表しました。所得が低く、保険料納付を全額免除・猶予されている人は前年度から二十六万人増の六百九万人（二

〇年度末時点）に上り、現行制度が始まった一九八六年度以降で最多だった。新型コロナウイルス感染症による経済状況の悪化が影響したとみられる。納付率は前年度比2.2ポイント増の71.5%で、九年連続上昇した。

厚労省は昨年四月、コロナ禍で大幅減収となった人の保険料の全額または一部を免除しやすくする特例措置を決定。対象となった自営業者や学生らが人数を押し上げた可能性がある。将来の年金額のうち、全額免除期間の金額は全額納付した場合に比べて半減するが、十年以内に追納すれば本来の額を受け取ることができる。

納付率を都道府県別に見ると、最も高かったのは島根で83.3%。新潟83.1%、富山82.4%と続いた。沖縄61.1%、大阪64.1%、東京67.1%などが低かった。福井は79.7%。